地域とお客さまの発展のために

「南日本銀行グループSDGs宣言」

南日本銀行グループは、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、達成に向けた取組みを推進することで、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献し、地域とともに持続的に成長していくことを目指してまいります。

重点課題と取組方針

≪地域経済の回復及び持続的な成長への貢献≫

私たちは、鹿児島県を地盤とする地域金融機関として、事業者への本業支援や経営改善支援などの金融仲介機能を発揮するとともに、デジタル･トランスフォーメーション等を活用した金融サービスの提供を通じて、ポストコロナに向け、地域経済の回復及び持続的な成長に貢献してまいります。

≪地域社会とのパートナーシップ及び環境問題への取組み支援≫

私たちは、地域社会やお客さまと互いに協働し、地元の豊かな自然や歴史的･文化的遺産を守るとともに、環境保全･気候変動リスクの低減に向けた事業･取組みを支援してまいります。

≪全役職員の活躍促進≫

私たちは、多様な人材が最大限に個性と能力を発揮でき、働きがい･生きがいのある職場環境を創ることで、質の高いサービス･ソリューションの提供を実現し、人と街が豊かに成長する地域社会の実現に努めてまいります。

地域とお客さまの発展のために

『鹿児島離島の魅力発見フェア～島の呼吸を感じてみませんか』

2022年11月15日～18日の4日間、鹿児島離島の魅力ある資産を県外へ発信することで、特産品の消費拡大や観光客誘致の促進、U·Iターン支援等に繋がることを目的に、博多駅構内の商業施設内において、『鹿児島離島の魅力発見フェア～島の呼吸を感じてみませんか～』を開催しました。

本フェアは、特産品を販売する事業者だけでなく、自治体や商工団体とも連携し、離島のPRと特産品の販売を同時に行うことで、九州の玄関口である博多駅に訪れる多くの方に鹿児島離島の魅力を発信することができました。

今後も、産官連携の支援を通じ、地域社会の繁栄および地域経済の活性化に繋がる取組みを積極的に行ってまいります。

【 主　催 】南日本銀行　　【 後　援 】鹿児島県
【開催内容】自治体·商工団体における各離島のPR活動、当行取引先による特産品の販売
【対象離島】長島、種子島、屋久島、甑島
（1日目）11月15日（火）　長　島　（2日目）11月16日（水）　種子島
（3日目）11月17日（木）　屋久島　（4日目）11月18日（金）　甑島
【 場　所 】博多駅構内マイング広場特設会場
【 参加者 】事業者22社、自治体4先、商工団体5先

<長島>

<種子島>

<屋久島>

<甑島>

地域とお客さまの発展のために

投資専門子会社の設立を決定

スタートアップ企業への成長支援や事業承継･事業再生等の経営課題の解決支援を通じた地域経済の回復･活性化に資することを目的として、ファンドの組成･運営業務を行う投資専門子会社「なんぎんキャピタル」を設立することを決定しました。

現在、2023年4月の設立に向けて準備を進めておりますが、この「なんぎんキャピタル」を通じて、南日本銀行グループの存在意義をもう一段高めるとともに、お客さまの経営課題にしっかりと寄り添い、地域金融機関としての役割を果たしてまいります。

【新会社の概要（予定）】

名　　称	株式会社　なんぎんキャピタル
所　在　地	鹿児島市山下町1番1号（南日本銀行本店内）
事　業　内　容	投資事業有限責任組合（ファンド）の組成･運営業務 経営コンサルティング業務 上記に付帯または関連する一切の業務
設　立　年　月	2023年4月
資　本　金	10百万円
株　　主	株式会社南日本銀行（保有比率100%）

TXコンサルティング株式会社との業務協定を締結

2022年11月、事業承継に関する課題解決の方策としての「M&A支援」を行うことを目的として、TXコンサルティング株式会社とコンサルティング業務に関する協定を締結しました。地域の事業者にとって、事業承継は重要な経営課題となっており、外部機関とノウハウを共有することによって、より質の高いソリューションを提供できるよう取組んでまいります。

【協定内容】

協定の主な内容	・M&Aコンサルティングの情報提供に関する事項 ・専門家としての適切な助言などの協力に関する事項
協定先の名称	TXコンサルティング株式会社
本社所在地	鹿児島県鹿児島市高麗町14番1号
代　表　者	代表取締役　柴田　大輔
事　業　内　容	・経営コンサルティング ・M&Aの仲介及びコンサルティング

地域とお客さまの発展のために

▌かごしまSDGs推進パートナーへの登録

2022年10月、鹿児島市が募集する「かごしまSDGs推進パートナー」に申請し、登録されました。

「かごしまSDGs推進パートナー」は、地域課題の解決に向けた取組みなど、SDGsの更なる推進に取組む意欲がある企業や団体等を募集し、申請書類をもとに審査･登録される制度です。

当行は、SDGsの達成に向けた取組みを推進することで、地域の皆さまとともに地域社会が抱える課題の解決と、持続可能な社会の実現に貢献できることを目指してまいります。

第2022-29号

かごしまSDGs推進パートナー
登録証

株式会社南日本銀行 殿

SDGs（持続可能な開発目標）の推進に向けて、
ともに取り組む「かごしまSDGs推進パートナー」
として登録します

マグマシティ
鹿児島市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs未来都市・鹿児島市

令和4年10月21日

鹿児島市長　下 鶴　隆 央

▌イベント･ボランティア活動への参加

当行は鹿児島県内を中心に64カ店（店舗内店舗方式での店舗統廃合による実質店舗数59カ店）の店舗がありますが、各地域で開催される様々なイベントや清掃活動等に参加･協力しています。これからも地域の活動に積極的に参加し、地域の一員として活性化に取組んでまいります。

＜甑マラソン大会へのボランティア参加＞

＜南さつま市加世田「えびす百縁市」へのボランティア参加＞

地域とお客さまの発展のために

主要な業務内容

預金業務 当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、納税準備預金等を取り扱っております。

融資業務 手形貸付、証書貸付、当座貸越を取り扱っております。また、手形の割引(商業手形等の割引)を取り扱っております。

内国為替業務 送金為替、代金取立等を取り扱っております。

証券業務 国債等公共債の売買業務を行っております。

附帯業務 損害保険及び生命保険の窓口販売などを行っております。

WIN−WINネット業務 中小規模事業者のお取引先に対して、新たな販路開拓や事業運営方法の改善を行っております。

南日本銀行のあゆみ

1913（大正 2）年 9月 ●同仁貯金合資会社設立（創業）
●本店／鹿児島県姶良郡東国分村（現霧島市国分広瀬）
1936（昭和11）年 4月 ●鹿児島無尽株式会社に組織変更
1937（昭和12）年 5月 ●鹿児島支店（現本店の旧館）新築落成
1943（昭和18）年11月 ●鹿児島無尽株式会社、鹿児島相互無尽株式会社合併設立
1951（昭和26）年 3月 ●資本金5,000万円
10月 ●相互銀行法施行に伴い、株式会社旭相互銀行に商号変更
1952（昭和27）年 2月 ●資本金1億円
3月 ●定期積金取扱開始
1953（昭和28）年11月 ●内国為替取扱開始
1958（昭和33）年10月 ●旭相互銀行健康保険組合発足
1960（昭和35）年 1月 ●日本銀行と当座取引開始
1962（昭和37）年12月 ●日本銀行歳入代理店事務取扱開始
●旭ビルディング（株）設立
1963（昭和38）年 4月 ●旭保養センター完成
9月 ●創業50周年
1964（昭和39）年 5月 ●資本金6億円
8月 ●資本金6億3,000万円
1967（昭和42）年12月 ●本店増改築落成
1973（昭和48）年 3月 ●資金量1,000億円突破
6月 ●行内報「あさひ」創刊
10月 ●資本金10億円
11月 ●両替業務取扱開始
1976（昭和51）年 9月 ●為替オンラインシステム稼動
12月 ●資本金18億円
1977（昭和52）年 3月 ●資金量2,000億円突破
8月 ●第1次オンラインシステム稼動
1979（昭和54）年 2月 ●全銀データ通信システム加盟
1980（昭和55）年 4月 ●外国為替業務取扱開始
5月 ●「旭相互銀行史」発刊
11月 ●旭霧島荘オープン
1981（昭和56）年 5月 ●旭ボランティアサークル結成
6月 ●資金量3,000億円突破
●相銀ワイドサービス（SCS）取扱開始
1982（昭和57）年 8月 ●金の売買業務取扱開始
1983（昭和58）年 4月 ●国債窓口販売業務開始
10月 ●資本金27億2千5百万円
●「調査速報」発刊
12月 ●資金量4,000億円突破
1984（昭和59）年 3月 ●南九州サービス（株）設立
5月 ●「あさひワイドカード」取扱開始
10月 ●相銀データ伝送システム（SDS）取扱開始
11月 ●第2次オンラインシステム稼動
1985（昭和60）年 3月 ●MMC（市場金利連動型預金）発売開始
7月 ●旭ファイナンス（株）設立（現 なんぎんリース（株））
12月 ●自由金利型定期預金の取扱開始
1986（昭和61）年 6月 ●旭ビジネスサービス（株）設立
1987（昭和62）年 4月 ●鹿児島ネットサービス（KNS）取扱開始
6月 ●公共債ディーリング業務取扱開始
7月 ●あさひニュービジネスクラブ（ANBC）設立
10月 ●福岡証券取引所に株式上場
11月 ●旭相互銀行厚生年金基金設立
1988（昭和63）年 4月 ●外替オンラインシステム稼動
6月 ●公共債フルディーリング業務取扱開始
11月 ●南日本銀行VI発表（シンボルマーク、ペットネーム「フレッシュバンク」を制定）
12月 ●海外コルレス業務取扱開始
1989（平成 元）年 2月 ●普通銀行に転換、南日本銀行に商号変更
●（社）全国銀行協会へ加盟
●下甑村指定金融機関事務取扱開始
●東京支店、東京事務所開設
10月 ●資本金46億4千万円
11月 ●無償増資により資本金48億9千5百万円
1990（平成 2）年 3月 ●アサヒエステート（株）設立
5月 ●全国キャッシュサービス（MICS）に参加
8月 ●南日本バンクカード（株）設立
12月 ●イメージキャラクター「なんちゃん・ミミちゃん」決定
●サンデーバンキング実施
1991（平成 3）年 1月 ●テレビ広告開始
6月 ●里村指定金融機関事務取扱開始
1992（平成 4）年 2月 ●中間発行増資により資本金67億7千7百万円
3月 ●本店営業部全面改装
1994（平成 6）年 4月 ●地元5行庫による店舗外現金自動設備の共同利用開始
5月 ●第3次オンラインシステム稼動
1996（平成 8）年11月 ●本店営業部・県庁出張所開設
1997（平成 9）年 3月 ●「なんぎん産学交流支援サービス」取扱開始
1998（平成10）年 4月 ●「なんぎん懸賞付定期預金」発売
12月 ●本店の建物が県内初の登録有形文化財に登録
1999（平成11）年 3月 ●郵便局とのATM（CD）相互利用開始
9月 ●証券投資信託の窓口販売業務取扱開始
2000（平成12）年 3月 ●第三者割当増資により資本金91億1百万円
2001（平成13）年 4月 ●損害保険商品窓口販売開始
2002（平成14）年10月 ●生命保険窓口販売開始
11月 ●ダイレクトローンセンター業務開始
2003（平成15）年 8月 ●四半期情報開示開始
2004（平成16）年 6月 ●執行役員制度導入
10月 ●決済用普通預金取扱開始
2006（平成18）年 4月 ●本店が鹿児島市より「環境管理事務所」に認定
2008（平成20）年10月 ●なんぎん住宅ローンセンター開設
2009（平成21）年 3月 ●第三者割当方式によるA種優先株式150億円発行
●資本金166億1百万円
5月 ●なんぎん個人相談プラザ開設
11月 ●花棚支店開設（2010年3月移転オープン）
2010（平成22）年 3月 ●熊本支店（河原町支店及び熊本市場支店を統合後）熊本営業部へ昇格
2011（平成23）年 4月 ●ミナミネット支店開設
10月 ●WIN-WINネット業務開始
2012（平成24）年 5月 ●種子島支店リニューアルオープン（新築移転）
10月 ●西谷山出張所開設（2013年4月移転オープン）
11月 ●with youプラザ開設
2013（平成25）年 9月 ●創業100周年
●上川内出張所開設（2014年2月移転オープン）
2014（平成26）年 4月 ●伊集院支店リニューアルオープン（新築移転）
9月 ●西田支店オープン（城西支店と宮田通支店を統合）
2016（平成28）年 3月 ●笠之原支店リニューアルオープン（新築移転）
10月 ●紫原支店リニューアルオープン（新築移転）
2017（平成29）年 5月 ●上町支店リニューアルオープン（新築移転）
9月 ●東京支店リニューアルオープン
2019（平成31）年 1月 ●新勘定系システムの稼働開始
2019（令和 元）年 8月 ●福岡支店リニューアルオープン
2020（令和 2）年 1月 ●下甑支店に昼時間休業導入
2月 ●安房支店を屋久島支店内に移転統合（店舗内店舗）
3月 ●宮崎支店リニューアルオープン（移転）
4月 ●玉名支店を熊本営業部内に移転統合（店舗内店舗）
5月 ●県庁支店に昼時間休業導入
12月 ●吹上支店・喜入支店に昼時間休業導入
2021（令和 3）年 4月 ●屋久島支店・安房支店・宮崎支店・福岡支店・小倉支店・甑島支店・吉野支店・明和出張所に昼時間休業導入
5月 ●川辺支店・頴娃支店・草牟田支店・玉里支店・星ヶ峯支店・桜ヶ丘支店に昼時間休業導入
9月 ●第三者割当方式によるB種優先株式85億円発行
●資本金208億51百万円
●下甑支店を甑島支店内に移転統合（店舗内店舗）
10月 ●明和出張所を西田支店内に移転統合（店舗内店舗）
11月 ●天文館支店を本店営業部内に移転統合（店舗内店舗）
2022（令和 4）年 9月 ●資本金133億51百万円
●A種優先株式150億円を取得・消却